

傾向

平成27年9月以降から、埼玉県公立入試をかなり意識した問題(似たような形式)に大幅に変更されました。解答用紙がA3サイズになり、計算の過程の項目、グラフや図への書き込み、記述問題等が増えました。

【出題範囲】

以前は、全範囲を網羅するためその年度にすでに出題されていた分野はその後のテストには出題されませんでした。その縛りはなくなりました。同じ分野の問題が複数回出題される可能性があります。
 ※重要単元・重要語句・重要テーマは出題されやすくなりました。

【出題形式】

①記号問題が減り、記述問題が大幅に増える

記号問題が半数、4割が単語を聞く問題、1割が記述問題[文・図・グラフ]でしたが、記号・単語・記述の割合がおよそ3分の1ずつになりました。

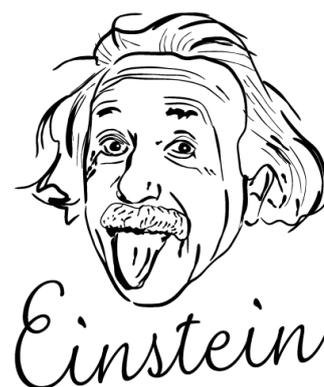
*2点問題が1問、3点問題が20問、4点問題が7問、5点問題が2問の計100点満点(回により若干の変動あり)

②大問1は小問8問

物理・化学・生物・地学の各分野から2問ずつ出題されます。

③大問2～5が各分野から1つずつ

※学習分野ごとに2年分(2020年度・2021年度)の内容をみると補足資料の表のようになります。



学習の取り組み方と S.net グループの取り組み

今年度の北辰テストの出題範囲

	第2回(6月)	第3回(7月)	第4回(9月)	第5回(10月)	第6回(11月)	第7回(12月)
出題範囲 (啓林館版)	1・2年全範囲	1・2年全範囲	1・2年全範囲	細胞分裂 生殖 (P.4～16)	細胞分裂 生殖・遺伝 (P.45まで)	生殖(~P.45) 水溶液とイオン (P.108～123) 運動とエネルギー (P.178～189)

※1・2年範囲は移行措置補助教材の内容も含まれます。

※第5回以降の範囲にあるページは啓林館の教科書ページです。

※第5回～第7回は1・2年範囲も含まれます。

【出題範囲から読み取れること】

①ほとんどは中1・中2の内容から出題される(中3内容は第5回以降から少し出題されている)

②中3内容の「化学変化とイオン」「運動とエネルギー」は第7回(12月)まで出題されない

【効果的な学習法】

中1・2の範囲をまとめた夏期講習会の単元別小テストをすべて覚えてしまうくらい練習する。

「北辰のかこもん」を解いたあと、間違い直しを行う。

各種テスト終了時に間違い直しノートをつくる。(目的:次回以降のケアレスミスの防止)

まずはiワークの「要点のまとめ」をノートにまとめましょう。次に、「基本のまとめ」「語句と記述のまとめ」のページを解いて、得点アップを目指しましょう。ポイントは反復学習です。

苦手意識を持っている人は夏期講習会の単元別小テストを繰り返し解きましょう。「中1・中2ワーク」「市販の問題集(知識事項をまとめたもので、応用問題が多く入っていないもの)」を利用するとよいでしょう。

記述問題の対策(説明・作図・グラフ)も9月以降から塾内で実施します。

S. netグループでは、単元別小テストを合格するまで行い、中1・2レベルの用語、実験器具の操作などを覚えます。「北辰テストのかこもん」を活用し本番の解答力を身につける演習に重点をおきます。間違えた問題は、「間違い直しノート」を作り、ミス問題を減らしましょう。目標を立て、こまめに取り組みましょう。

解答のアドバイス

生物分野・地学分野の知識問題を正確に覚えましょう。終了5分前には答案の見直しを行い、用語は漢字の指定をされても得点できるよう何度も書き取りをすることが大切です。



高得点の秘訣

理科で高得点をとる条件は、ケアレスミスをしなことです。公式に当てはめるだけで解けてしまう容易な計算問題も慎重に解きましょう。特に、中1, 2年の基本問題を練習しておくことをおすすめします。なお、記述問題(計算問題含む)は内容の一部だけ書いておけば部分点がもらえることもあります。夏期講習会の単元別小テストでしっかり解答力を身につけましょう。

平均点が偏差値50です。北辰テストは全部を解ききる必要はありません。

平均点40.6のとき	41点で偏差値50.2	64点で偏差値60.3	86点で偏差値70.0
平均点45.9のとき	46点で偏差値50.1	66点で偏差値60.3	85点で偏差値70.1
平均点50.5のとき	51点で偏差値50.3	70点で偏差値60.2	89点で偏差値70.1

理科が不得意な人は事前に目標とする偏差値を決めておき、その目標点を目指して頑張りましょう。

補足資料

北辰テスト過去2年分の出題範囲一覧(大問2～5のみ表示)

2020年		物理分野			化学分野			生物分野			地学分野	
実施	埼玉県平均点	光・音・力	電流と磁界	運動とエネルギー	身の回りの物質	化学変化	イオン酸とアルカリ	植物	動物と人体	生殖と遺伝	大地の変化	天気
第1回 4月	中止	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
第2回 6月	41.9	/	電気エネルギー	/	状態変化	/	/	植物の分類	/	/	地震	/
第3回 7月	44.0	力と圧力	/	/	/	参加・還元	/	/	血液の循環	/	/	日本天気
第4回 9月	46.9	光の性質 凸レンズ	/	/	/	化学変化と質量	/	/	動物の分類	/	/	前線 天気の変化
第5回 10月	44.9	/	電流と磁界	/	気体の性質 反応	/	/	/	消化と吸収	/	地層の観察	/
第6回 11月	50.9	/	静電気と電子	/	水溶液	/	/	/	刺激と反応	/	/	気象観測
第7回 12月	42.7	音の性質	/	/	/	化学変化と質量	/	/	/	生物の生殖	/	雲のでき方

2021年		物理分野			化学分野			生物分野			地学分野	
実施	埼玉県平均点	光・音・力	電流と磁界	運動とエネルギー	身の回りの物質	化学変化	イオン酸とアルカリ	植物	動物と人体	生殖と遺伝	大地の変化	天気
第1回 4月	39.0	光の屈折と反射	/	/	/	化学変化と質量	/	光合成	/	/	/	前線 気象
第2回 6月	40.0	/	電流と発熱	/	水溶液	/	/	/	/	/	/	水蒸気
第3回 7月	45.9	/	電流と磁界	/	気体の性質	/	/	/	/	/	地震	/
第4回 9月	51.6	力と圧力	/	/	/	酸化と還元	/	/	/	/	火山	/
第5回 10月	47.5	/	電流と発熱	/	混合物の状態	/	/	/	/	/	/	日本の天気
第6回 11月	40.0	光と音	/	/	/	化学変化	/	/	/	/	/	前線と天気
第7回 12月	45.7	力 物体の浮力	/	/	物質の見分け方	/	/	/	/	/	地層のでき方	/

■2022年出題予想(参考)

		物理分野			化学分野			生物分野			地学分野	
実施	埼玉県平均点	光・音・力	電流と磁界	運動とエネルギー	身の回りの物質	化学変化	イオン酸とアルカリ	植物	動物と人体	生殖と遺伝	大地の変化	天気
第4回 9月		音の性質	/	/	水溶液	酸化と還元	/	/	刺激と反応	/	/	前線・気象
第5回 10月		/	静電気	/	物体と物質	/	/	/	/	遺伝子	火山	/
第6回 11月		力と浮力	/	/	/	化学変化	/	/	消化	/	示準化石	/
第7回 12月		/	電力 電力量	/	混合物の状態	/	/	植物の分類	/	/	/	日本の天気